



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

あこウ

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたこころあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部

FAX : 0969-62-1547(直通)

住所: 866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話: 0969-62-1122(代) FAX: 0969-62-1546(代)

URL : <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>Eメール : kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者: 地域医療支援部長 福田 誠



着任のごあいさつ

内科医長 古川 祥太郎

こんにちは。今年度4月に上天草総合病院に内科医として着任しました古川祥太郎と申します。平成22年3月に栃木県にある自治医科大学を卒業後、同県で6年間勤務し、この4月に出身県である熊本に異動となりました。特に循環器専門医を目指し日々勉強中ではありますが、『倫理、高度な医学知識、臨床的実力を持ち過疎地域へ貢献する』という自治医科大学の教育理念を踏まえ、循環器疾患だけでなく内科全般、また当直帯など場合によっては外科や小児科の患者さんも診療しています。僕が常に目標としている医師像は、「循環器を得意とする、デキる総合医」です。

総 合的に診療するにあたり、心掛けている事が3つあります。

1つ目は頻度の高い疾患に慣れ、重症化しやすい疾患を見逃さない事です。高血圧や糖尿病など全国どこでも多い病気もありますが、診療で見かける病気には地域差があります。栃木県は海なし県なので、当院へ赴任してすぐメバルに刺された患者さんを診療した時は未経験で、熟練の看護師さんに大いに助けられました。今後も経験を積み、限られた時間の中ですばやく適切な治療が出来るよう勉強したいと思います。また、患者さんの状態は刻々と変化します。診察時に大丈夫でも急変することもあるので、変化を見逃さず、当院での対応が困難な場合は、大病院への搬送なども躊躇せずに検討したいと思います。

2つ目は医療スタッフと密に連携をとる事です。診察の場だけでは、生活の様子や治療の過程

など全体像の把握は出来ません。また、患者さんとしては信頼する身近な人にしか本音を話せない事もあるでしょう。その人とは、優しく声をかけてくれる看護師さんや、毎日リハビリに熱心に付き合ってくれる理学療法士さんだったりします。スタッフ達と様々な視点から意見を出し合い、より良い医療を提供できたらと考えています。

そして3つ目は患者さんの声に真摯に耳を傾ける事です。関係ないと思った事が診断の重要なヒントになっている事があります。患者さんには、疑問に思っている事、気になっている事があれば気兼ねなく質問していただければと思います。

ま だまだ駆け出しの医師ではありますが、この素晴らしい景観の中で患者さんに寄り添う診療をし、たまには釣りも楽しみたいと思っています。これからどうぞ宜しくお願い致します。

最後になりましたが、熊本地震で被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げ、一日も早い復旧をお祈り致します。



熊本震災支援活動報告 I

診療部長・日本DMAT 城野英利

4/14 (木) DMAT (城野診療部長、楠本看護師、大石看護師、堀江看護師、田中総務課)

場 所：益城役場、益城町体育館

活動内容：

4月14日(木曜日)当直であった私は、外来も一段落して医局にいました。21時26分、突然の強い地震に襲われました。(後に前震となりました。上天草市の震度5弱)幸いにして病院は、これといった被害を受けず、停電にもならずすみしました。すぐにテレビの地震速報があり、『熊本県益城町で震度7』・・・眼を疑いました。同時に津波のことが心配になりましたが、しばらくして『津波の心配なし』とわかり、一安心。ニュースに釘づけになっていると、21時45分、『DMAT出動待機』のメールが届きました。楠本Nsはすでに病院に到着しており、メンバーへの連絡を行ってもらうとともに持参資機材と薬剤の準備を始めてもらいました。事務長も病院に到着されており、病院車の利用を許可していただきました。

23時19分、熊本県県庁内のDMAT事務局本部より出動要請の電話連絡を受け、23時40分に病院を出発。田中隊員とは、DMAT参集拠点となった熊本日赤にて落ち合うこととしました。途中、食料・水を確保し、15日2時前に日赤到着しました。途中、車の往来が多い感じがあったものの地震の影響は見られませんでした。日赤に到着したDMATは、我々が7チーム目、すでに先発5チーム(いずれも熊本市内のDMAT)は、益城町に向け出発していました。我々も益城町役場の災害対策本部内のDMAT現地本部への派遣を命ぜられました。ここで一つ問題が…主要な道路は交通規制が設けられており、緊急車両以外の通行制限がかかっていました。我々は一般車両でしたから規制にあうかもと、そこで別チームの救急車の後ろにくっついて行くこととしました。(本当はダメらしいのですが…)DMAT隊員証を見せればなんとかなると本部が後押ししてくれました。



益城町に近づくと瓦の落下、ブロック塀の倒壊など目立ってきました。なんとか役場にはたどり着きましたが、役場も停電のため対策本部は駐車場内に設けられていました。役場職員も消防も警察もまだ混乱する中での情報収集と情報共有が進められていました。

DMAT本部へ行くと、倒壊家屋内に閉じ込められた人たちの救出現場への派遣や安否確認ができていない地区・建物への派遣、被災した医療介護施設の現状確認などの活動指示が行われています。我々は、最も被害の大きいと思われた安永地区へ入り、消防の活動とともに被災地区で安否の確認が取れていない住居への確認を行う命を受けました。車で現場に行く途中、倒壊した家屋が多数見られるようになり、道路もがれきが散乱しはじめました。現場近くで車を降り、救出活動を行っている消防隊に接触し、現場近辺の情報を収集し、確認が取れていなかった居住者宅へ向かいました。運よく、住居前で居住者の一人と会うことができ、家族全員の無事を確認できました。近くの倒壊家屋でも救助者情報はなく、本部に連絡し、いったん役場へ戻りました。待機中に、本部が電源車の到着で使えるようになった役場3階へ移動しましたが、役場も壁のひび割れ、窓枠のゆがみなど相当のダメージを受けていました。

夜が白み始めたころ益城町体育館への派遣を命ぜられました。任務は、避難者の健康確認と救護所の設置業務とのことでした。通常であれば車で5分ほどの距離のところ、交通規制・渋滞にて思うように車は動きません。30分ほど要したでしょうか、なんとか体育館へ到着しました。たくさんの方が避難されており、DMAT数隊で健康被害がないことをひとりひとりお話ししながら確認していきました。数名の擦過傷の方の処置を行いました。その後は救護所運営に参加しました。頭部挫創、足の切創など数名の創傷処理を行い、昼前には救護所も一段落しました。

倒壊家屋の救出も終了しており、重傷者・中傷者は増えないであろうとの予測ができました。また、後発DMAT隊や救護班の到着もありましたので他の隊に後を引き継ぎ、益城町を後にしました。この時点では、今後の本震の発生を知るすべもなく、狭い範囲での限局した被災で済んだことを少し安心していました。本震の際に出動を断念したのは、やはり緊急車両を準備できないことが現場活動のネックとなることを強く感じた事がありました。加えて熊本市内の医療機関の被災が激しく、当院への患者搬送をDMATが行う可能性があり、その際の窓口になる可能性を考えたことも出動しなかった理由とします。天草は今回、幸いにも難を免れました。しかしながら、八代海を震源とする地震の発生も今後起きないとは、限りません。地震や津波を想定した防災訓練の実施が必要であると思われまし、災害拠点病院としての災害発生時のマニュアルの整備も急がれると感じました。

熊本震災支援活動報告Ⅱ

4/19（火）JMAT（坂本院長、須崎庶務係長、松江保健師）

場 所：熊本エミナース

活動内容：東日本大震災を教訓に薬剤師会は十分な量の薬と分包機を装備した薬局車持参。問診処方箋作成で協力。震災数日目では心労からの便秘、車中泊に伴う特に小児の虫刺されが目立った。

5/1（日）JMAT（蓮尾事業副管理者、松江保健師、関事務職）

場 所：熊本市北区4避難所

（龍田体育館、五福小学校、西山中学校、一新小学校）

活動内容：DVT対策に特化したチームとしての活動。エコノミークラス症候群として知られる、深部静脈血栓症→肺塞栓症患者の検出と予防活動。下肢静脈エコー検査まで施行した13名中血栓あり1名、血栓消失1名。対象者全員に弾性ストッキング配布。



熊本震災支援ボランティアに参加して

上天草看護専門学校

40期生

田中

恭華

4月28日夕方、GWということで、帰省のため宇土の道へ出ると、あちらこちらでブルーシートを広場に広げている。道路はボコボコになりひびが入っている。道路は「がまだせ熊本・頑張れ熊本」とメッセージが書かれた支援物資を運ぶ熊本県外の大型トラックで渋滞だった。この時、普段とは違う姿となってしまった悲しみと日本中の暖かな優しさに感動した。そんな時、「何か少しでも自分にはできることはないか？」と考えた。それがボランティアに参加するきっかけとなった。地元の友人を誘い、ボランティアに参加した。午前9時の受付開始だが、私は早めに着くように8時に花畑広場に到着した。すでに沢山の方が足を運んでおり、私たちは最後の方であった。たくさんのボランティアが集まったため、通常より早めの受付となった。気温が高くなる中、受付まで約3時間ひたすら並び続けた。私の派遣された場所は避難所となっていた慶徳小学校の片づけであった。たくさんのお年寄り方が避難しており、39度の高熱のお年寄りの方もおられた。医療行為を行うことは出来ないが、きれいに掃除するなど真っ黒になりながら私たちにはできることを精一杯した。

その後、私は一人暮らしの高齢者に依頼を受け、その方の家のお手伝いへ向かった。アパートの10階に住んでいらっしゃる80代の女性で、震災で住めなくなったため、隣のアパートの5階に引っ越すという。私たちは、持っていくもの、廃棄物を分け、10階から隣の5階へと運ぶ仕事をひたすら行った。こ

の方はこの震災で精神的にも肉体的にもきつとおっしゃっており、「もう死にたい」と言われていた。言葉がみつからなかったが、「私はいま看護学校に行っています。絶対に看護師になります」と言うと、出会って初めて見た素敵な笑顔で、手を叩いて「すごいすごい、絶対いいと思う、きついかもしれないけど頑張って、応援しているからね」と言われました。涙があふれそうでした。とともに絶対に頑張るという強い決意を持ちました。片づけはきつかったですが、感動と決意を得ることができた。別れの時、この方は涙ぐんで私たちに「ありがとうね、ありがとうね、がんばってね、がんばってね」と何度も言われました。私たちも「頑張ってくださいね」と言い、若いパワーを受け取って下さいと握手をした。なぜか涙が溢れそうになった。

今もまだ、どこかで助けを求めている人がいるかもしれないと思うと悔しくてたまらない。まだまだ、何もできない自分が情けないと感じた。だからこそ今、私たちにできることを何か少しでもしよう。この熊本震災という恐ろしい経験、またボランティア体験を糧に、私は看護師になり、認定看護師となるために、これから日々成長し努力することを決意した。



地震直後は寮に居て、みんなで協力することができたので、支え合うことがどんなに大切かも実感しました。

学校は10日間の休みに入り、私は友人と二人で宇土市のボランティアに2日間参加することにしました。市役所も使えなくなり、体育館は土足でした。以前、バスケットをしていた私は悲しい気持ちになりました。また街中はブルーシートで覆った家、危険度によって色で分けてある張り紙をしてある家ばかりの光景で、そんな中、私たちは住宅支援をすることになりました。住宅支援では個人宅の瓦礫などを撤去するという片付けのお手伝いでした。家の中は住めるような状態ではなく、壁や天井がボロボロに剥がれ落ち、家具などが散乱していました。危険なのでヘルメットを着用し、家の中に土足で入らせてもらいました。2,3日前に使っていた物、ゴミになっても家の思い出が詰まったものばかりなので、丁寧に扱いました。家には80歳代のお婆さんがおられ、おばあちゃん宛の手紙が見つかり手渡すととても喜ばれたので、その姿を見ただけでもボランティアに参加してよかったと思えました。きつくつらいのに、手伝っている私たちにまで気をまわしてくださり、言葉ではいい表しがたい思



いをたくさん戴き、とても活動しやすかったです。本当に、現地に来て実際に体験しないと分からないことばかりで、みんなにもボランティアに参加して体験してほしいと強く思いました。実際、人手不足と感じました。住宅支援をして、日頃からの整理整頓や無駄なものは余分に増やさないとことを、今後の教訓にしたいと思います。

2日目はクリーンセンターでの仕分けボランティアに参加しました。車やトラック一杯に積まれた災害ゴミを燃やしてはいけないものがないか確認し仕分けする作業です。なんでも入っていることもあるため、とても苦労しました。面倒がってしまうゴミの分別がいかにか重要わかりました。クリーンセンターでは、普段はあまり見えない仕事をしている方と作業をすることができ多くのことを学びました。

ボランティアに参加したことで、本当に熊本で震災があったのだと実感し、さらに、違う職種や他のボランティア参加者と関わることができ、コミュニケーションの幅が広がったと思います。まだまだボランティアに参加して、少しでも力になりたかったです。私は私にできること、今回の災害やボランティアの体験で学んだことを忘れずに、自分の夢に繋げて多くの人をケアすることのできる看護師になりたいと思いました。2日間でしたが、ボランティアに参加することができて本当によかったです。

研修会・勉強会の行事予定表

参加申し込み・内容等については、地域医療連携支援課までお問い合わせ下さい。

6月1日(水)	衛星放送教育 基礎)安全、安心に実施できる採血法と注射法	17:30~ 当院6階講堂
6月3日(金)	地域包括ケア病棟運営についての講演会 地域包括ケア病棟協会 会長 仲井 培雄 先生	17:30~ 当院6階講堂
6月8日(水)	震災対応報告会	18:00~ 当院6階講堂
6月14日(火)	マザークラス おっぱいマッサージ・妊娠経過・母児同室について	13:30~ 当院6階講堂
6月15日(水)	衛星放送教育 中堅)エビデンスから読み解く慢性心不全のマネジメント	17:30~ 当院6階講堂
6月17日(金)	心臓リハビリテーション勉強会 「狭心症と心筋梗塞について」 院長代理兼循環器内科部長 脇田 富雄	13:30~ 当院6階講堂
6月21日(火)	輸血に関する勉強会	17:30~ 当院6階講堂
6月24日(金)	がんサロン(ナイトサロン)	19:00~ 大矢野体育館
6月28日(火)	感染症治療学術講演会 座長 診療部長兼内科部長 和田正文 【オープニングリマーク】「天草上島地域における日本紅斑熱の流行予測」 副院長兼眼科部長 竹下 哲二 【特別講演】「動物由来感染症」 医療法人新心会 馬原医院 院長 馬原 文彦 先生	18:20~ 当院6階講堂

編集後記

○熊本地震から1か月を過ぎ、余震もやっと少なくなってきた。震災当時まだ冷気が残っていた被災地は、今や熱中症が心配となっている。梅雨の時期が迫り、震災のつめ跡に被害が出ないことを祈りたい。今回の「あこう」は震災に対する支援活動について掲載しています。嬉しいことに、ボランティアに参加した看護学生は、参加することで看護師になりたい思いが強くなったと、記してくれた。(福田)

6月 診療案内

	月	火	水	木	金	休診日
内科 〔代謝内科 消化器内科 呼吸器内科〕	坂本 興美 和田 正文 古川 祥太郎 熊大代謝内科	和田 正文 溝部 孝則 古川 祥太郎	樋口 定信 坂本 興美 古川 祥太郎	樋口 定信 溝部 孝則 和田 正文 守田 雄太郎	坂本 興美 溝部 孝則 中本 弘作 応援医師	
循環器内科	脇田 富雄	前田 幸佑	脇田 富雄	脇田 富雄	脇田 富雄	
※ペースメーカー外来は（3、6、9、12月）に行います。						
小児科	田原 正英	島袋 浩 (田原 正英)	田原 正英	島袋 浩 (田原 正英)	田原 正英	
下記の時間帯も小児科診療を行います。ただし、来院前に必ずご連絡をお願いします。						
土・日・祝日(10:00)	6/4(土)、6/11(土)、6/18(土)、6/25(土)					
夕刻診療(17:00~17:30)	6/1(水)~3(金)、6/5(日)~10(金)、6/12(日)~17(金)、6/19(日)~24(金)、6/26(日)~30(木)					
準夜診療(19:30)	6/1(水)~3(金)、6/6(月)~10(金)、6/13(月)~17(金)、6/20(月)~24(金)、6/27(月)~30(木)					
外科・肛門外科 消化器外科	福田 誠	城野 英利	福田 誠 / 蓮尾 友伸	城野 英利	蓮尾 友伸	
整形外科	藤松 晃一	上原 悠輔	藤松 晃一	【午後2時~】 木内 正太郎 (岩橋 頌二)	藤松 晃一	10日(金)
※毎週木曜日（予約制）は午後2時から午後5時まで診察を行います。 ※5月より毎週火曜日の診療開始は10時20分から、受付は11時までとなります。 ※6月21日(火)は手術のため、外来診療は10時20分~12時までとなります。						
産婦人科	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	姫野 隆一	
耳鼻咽喉科	—	熊大	—	—	熊大	10日(金)
眼科	栗井 麻衣子	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	竹下 哲二	
※午後は、検査の予約外来です。ただし、月・水曜日は手術日です。						
皮膚科	—	—	—	尹 浩信	—	
泌尿器科	—	小川 愛一郎	—	—	—	
超音波・ 内視鏡センター	蓮尾 友伸 城野 英利	福田 誠 蓮尾 友伸	城野 英利 和田 正文	福田 誠 蓮尾 友伸	福田 誠 城野 英利	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
※午後は、1時~4時30分まで受付けます。						
教良木診療所 応援	樋口 定信	坂本 興美	応援	応援	古川 祥太郎 (午前・午後)	
御所浦診療所 応援	竹下 哲二 (午前)					

※診療受付時間は午前8時30分~11時30分まで行います。

※脳神経外科は月2回（第2、第4水曜日）の午後2時より診療を行います。（予約制）

※歯科口腔外科は月~金の午後も診療を行います。

※内科は木の午後5時~午後6時まで診療を行います。